

環境知性を暮らしと仕事に生かす

環境会議

2019 春

月刊 事業構想 4月号別冊
2019年3月5日発行(年2回・春秋発行)通巻51号

人と自然の活力を引き出す 地域循環共生圏構想



環境と生命のデザイン

福川伸次・東洋大学総長が語る 産学連携とイノベーション

石井菜穂子・地球環境ファシリティ CEOが語る グローバルな循環経済

『地図から消される街』
— 3・11後の「言つてはいけない真実」

青木美希 著

講談社 本体920円(＋税) 288頁

地図から消される街
3.11後の「言つてはいけない真実」

青木美希



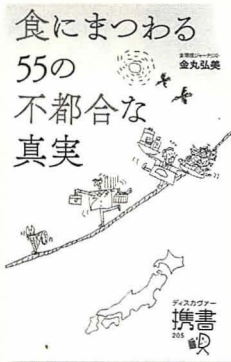
東日本大震災から時が経ち、報道が少なくなるなか、避難指示解除が進んだ福島第一原子力発電所近隣で進む恐るべき事態とは？ 現実を無視した「帰還」事業、弱者への支援の打ち切り……見せかけの「復興」が叫ばれ、実際には、自治体の「町残し」ばかりが進み、人が消えていく実情。震災直後から東北の地に足を運び、新聞協会賞三度受賞の若手女性ジャーナリストが迫る「不都合な真実」。

『食にまつわる55の不都合な真実』

金丸弘美 著

デイスカウ7121

本体1000円(＋税) 160頁



日本の食料自給率は先進国最低の38%と低く、ほとんどが中国・ロシアなどから輸入。日本人男性40代は肥満率3割超、20代女性2割がやせ過ぎ。糖尿病患者は1000万人、小学生の1割近くが肥満傾向。海洋プラスチックごみ問題。ふだん食べているものから、その向こうになにが起こっているのか。そしてなにをするべきか。55の素朴な疑問を取り上げ、身近な生活事例から探る。

『科学者と魔法使いの弟子』
— 科学と非科学の境界

中尾麻伊香 著

青土社 本体2200円(＋税) 201頁



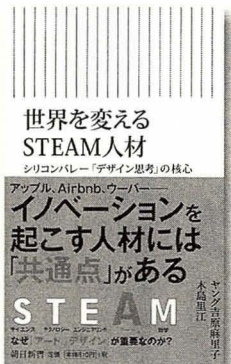
魔法をかけることはできるが、解くことはできない「魔法使いの弟子」。ドイツの詩人ゲーテによるこの物語は、進歩いちじるしい科学技術、とりわけ原子力にたとえられてきた。長崎で教育と研究に携わり、ドキュメンタリー映画の制作など文筆に限られない多彩な活動を展開する若手著者が、巧みなストーリーテリングにより、科学技術とアイデンティティの関係をユニークな切り口で真摯に描き出す。

『世界を変えるSTEAM人材』
— シリコンバレー「デザイン思考」の核心

ヤング吉原 麻里子

木島里江 著

朝日新聞出版 本体810円(＋税) 256頁



いま世界の最先端で活躍する、AIをねじ伏せるスーパー人材「STEAM」。多様なスキルを合わせたもった、従来にはない人材の実像とは何か。Appleのステイブ・ジョブズ、Airbnb、Uberの創業者など、論理よりデザイン思考を重視し、科学技術・医療(STEM)にアート(A)を融合させるイノベーターたちの秘密を、シリコンバレー在住の社会起業家ペアが解説する。